

団体名		有限会社 武蔵野交流センター				
① 事業	指標名	年間売上高			目標値	63,000千円
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:千円)	52,812	56,608	60,450	店内内装の工夫、SNS等による情報発信に加え、友好都市への訪問買付等による新規商品の開拓にて目標の達成を目指してきた。	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			1(2) 自律的経営の促進		
	設定理由等	令和8年6月の株主総会において承認予定額より設定				
	取組内容	・「ふるさととは美しく事業」を通じて、引き続き友好都市の商品に関する情報収集・情報共有を図り、地域限定商品や新商品の買付・店舗での販売を実施する。 ・コロナ禍で休止していた試食販売の再開や、友好都市から生産者・販売員を招いてフェアの規模拡大・強化を図るなどして、新規客、観光客の獲得に取り組む。 ・友好都市直送のギフト便の受注や、麦わら帽子特有のお土産・ギフト商品のラインナップ強化を図る。 ・25周年フェアを開催し、友好都市の魅力を発信するとともに、集客・売り上げの増につなげていく。				
② 財務	指標名	売上高総利益率			目標値	34.4%
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	34.2%	33.8%	34.4%	厚利小売の販売方法を強化し、無駄を省いた経営により、目標の達成を目指してきた。	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			1(2) 自律的経営の促進		
	設定理由等	令和8年6月の株主総会において承認予定額より設定				
	取組内容	・大量仕入れに伴う売れ残り処分を減少させる厚利小買の経営姿勢をより一層強化する。 ・販売データ(エアレジ、キャッシュレス決済等)の分析と評価に基づく戦略構築により、ロスの減少、消化率の高い品揃えに努める。 ・売上確保につながる近隣飲食店などからの受注を強化する。 ・キャッシュレス決済の拡充により、来店客の利便性向上と販売機会ロスの改善、また会計業務・経理業務の効率化を図る。				
③ 内部管理体制	指標名	SNSフォロワー数の拡大			目標値	1000人
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 人)	605	736	917	各SNSで定期的に情報発信したことで、閲覧者が増加し、毎年フォロワー数を増やしている。	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目					
	設定理由等	・SNSによる情報発信で、お店や友好都市の魅力を定期的に発信し新規顧客及びリピーターを獲得する。 ・麦わら帽子の旬の商品や店内の様子をリアルタイムに知ってもらうことで、顧客の来店意欲向上を狙う。				
	取組内容	・Facebook、X(旧Twitter)、Instagramの各SNSで定期的に新商品や提案商品、季節商品の情報を発信する。 ・商品の情報と合わせて友好都市の観光情報等も発信するなど、投稿内容を工夫し、引き続きフォロワーの数の拡大を図る。				